

# 当別文芸の会だより NO,41

H25・9/1 発行 (連絡先・河地良一 TEL23-2103)

## 8月の読書会は宇江佐真理の「たば風」でした

3年連続の暑い夏も一息。8月31日(土) 13:30からの白樺コミセンでの読書会には7名が参加されました。皆さん夏バテの影響か、行事が重なったのか、机を寄せての読書感想交流となりました。

今回は堀江三千代さんが司会を担当。少し新しい作品をとという声をいただきましたので、「オール読物新人賞」を受賞した函館在住、昭和24年生まれの宇江佐真理(うえざ・まり)さんの「蝦夷拾遺・たば風」(文春文庫)を取り上げました。

標題の「たば風」は、蝦夷・松前城下の許婚(いいなすけ)の若い男女を主人公にした作品ですが、思わぬ状況で物語が展開する内容です。

参加された皆さんの感想は、藤沢周平をめざした女流作家のようだ、でも、取上げ方が現代にも通ずるなど、話がどんどん広がりましたが、これまで、蝦夷地を舞台にした時代小説はあまりなかったので、これからが期待されるという感想もいただきました。

## 9月の読書会も宇江佐真理さんの作品です

次回の読書会は9月14日(土) 13:30から白樺コミセンです。文庫本も1回で終わるのはもったいないということで、同じ「蝦夷拾遺・たば風」の中の短編「恋文」「錦衣帰郷」の二つを取り上げます。今回と比較しながら、感想交流の幅を広げていきたいと思えます。皆さん、ご期待ください。

## 新名正勝さん、内モンゴル自治区に出発

同人(メンバー)の新名正勝さんが、8月27日、新千歳空港から内モンゴル自治区のトンリャオ(通僚)市に向け出発しました。肉牛生産の技術指導で招聘され、家族同伴での赴任です。急遽、激励の夕べを25日(日)に開催しましたが、13名の方が集まってくださいました。

早速、30日に無事到着のメールが入りました。皆さんにもよろしくとのことです。これからの内モンゴル通信で、現地のようにすが届くのを楽しみにしています。